



国労せんだい

No. 2674
2014年3月25日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

3・16	女川原発の再稼働を許さない！2014
3・18	みやぎアクション
3・20	貨物東北協議会東北支社要請行動 貨物「ベア・ゼロ」地本緊急抗議集会

貨物会社はベア・ゼロを撤回し要求に応えよ！

力を結集し原発のない社会を

事故の風化は許さない！ 県民大集会

3月8日、福島県郡山市のユラックス熱海をメイン会場に県内3ヶ所において、「原発のない福島を！福島県民大集会」が開催された。

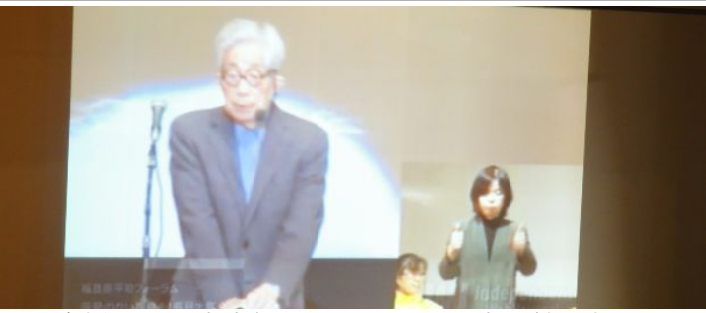
この集会は、平和団体など様々な組織の代表が呼びかけた実行委員会が主催したもので、福島県内はもとより東北を中心に、五千三百人が参加した。

各会場では、午前中から様々なアトラクションが企画実行され、駆けつけた集会参加者を楽しませていた。そして開会の13時。メイン会場のユラックス熱海からいわき市文化センター・

2日に3人が死亡

呼びかけ人を代表し、清水修二福島大学教授は、「福島県民の震災関連死がこれまでに千六百人を数えた。これは1年に五百人を越え、2日間に3人が亡くなっているという状態で、しかもいまだに続いている事態。この現状が霞ヶ関や永田町、そして東京電力の本社にいる人たちの目に入っているのか。政府は原発再稼働の地ならしに躍起だ」と憤り、県民すべての力を結集し、原発のない地域社会を作ることが必要だと訴えた。

騙された側の責任



郡山会場からの生中継であいさつする大江健三郎さん

また作家の大江健三郎氏は、「原発を再稼働させても恐ろしいことは起こらないという宣伝は、先の戦争で『悲惨なことにならない』という、日本人が日本人を騙したのと同じ論法。敗戦後、義父の伊丹万作氏が日本人は『自分たちは騙されてた』と言ったばかりで、騙された自分たちを反省しないことを非常に憂いてた」と紹介。

さらに、「原発は人間と共生することができない。確実に原発を廃絶するその知識、勇気、経験を持つているのが福島を中心とした日本人であることを全体で確認し世界に知らせ続けなければならぬ」と結んだ。

その後各会場毎の企画が披露され、集会宣言が採択された。

また福島会場といわき会場ではデモ行進が行われ、福島会場の集会とデモ行進に参加した仙台地本の組合員らは、前日の東北総決起集会などの疲れも見せずに元気に福島市内を行進し主張をアピールした。

なお、地本本部内の参加者は、福島県支部や郡支部を中心に、全支部からの参加があり、総勢126人の組合員が参加した。



地本参加者は連日のデモの疲れも見せず元気に行進

貨物がベア・ゼロ回答

15年連続

緊急抗議行動

国労せんだい壁新聞（3月18日付No2673号）で既に掲載しているが、貨物会社は3月17日、新賃金の支払に関する国労の申し入れに対し、「定期昇給の実施」「ベアは実施しない」「55歳以上の賃金改善は1500円」等の回答を行った。

東北協議会が再回答要請

国労東北協議会は3月18日、貨物東北支社に対し「2014年新賃金回答に抗議し再回答を求める要請書（国労東北協第3号）」を手渡し、再考し再回答を求める要請を行なった。

組合側は東北貨物協議会大越議長と高橋副議長に仙台地本原子書記長が同行、貨物会社側は石崎総括次長と香西勤労係長が対応した。

席上、大越議長は「収入は計画を上回り好調を維持している。鉄道事業部門が赤字を理由に15年連続のベアゼロ、言い換えれば18年間でベアは1700円しか上がっていない

に各地で実施された。【各地の集会の詳細は二面に掲載】

い。だが貨物会社は関連事業収入で全体的には黒字会社である。

昨年の期末手当は今まで最低の年間で2・4ヶ月と社員と家族を苦しめている。

新中期計画で28年度には鉄道事業部門を黒字にし30年度には経営自立（株式上場）するとしているが、線路使用料もアボイダブルコストルールも破棄され線路使用料は拡大し将来の展望はない。

これ以上社員と家族を苦しめないでほしい」と要請を行なったが、貨物東北支社は「（本社に）伝える」と述べるにとどまった。

状態良いのになぜ酷い目

理屈の通らぬ理由で要求に応えず

宮城県集会所

宮城野貨物駅門前で行われた宮城県集会所は、土砂降りの雨という厳しい環境の中、約60人の組合員が集り開催された。

地本大沼委員長があいさつを行なった後、経過報告に立った貨物協議会大越議長は、3日間連続で行われた門前チラシ配布行動に旅

大雪もなんのその

地本家族会が総会

仙台地本家族会は2月15日、仙台市内秋保温泉で第44回総会を開催する予



高野桜さん（前列左から2人目）を交えて

定でしたが、関東・甲信越から東北を中心に大雪をもたらし、南岸低気圧接近により、秋保での開催は中止になりました。しかし郡山であれば総会と講演は可能という判断で、急遽連絡と準備が進められました。

開催会場は国労郡山分連協事務所とし、在来線はじめ新幹線も運休が相次ぐ中、喜多方から高速バスで参加する方など、何とか集合・開催にこぎつけました。

そして総会を成功させようとする家族会の女性のパワーに圧倒され続けました。

客の仲間が多く参加してくれたことに感謝の辞を述べた後、「会社は2月現在で計画を3億円近く上回り、計画達成がほぼ確定がこの状況でも15年連続のベアゼロ。この18年間でわずか1700円のベアのみ。昨年度の期末手当は年間2・4ヶ月で旅客の夏の手当にも及ばない数字で社員と家族を苦しめている。入社6年目の社員の年間賃金は214万円、結婚はおろかワーキングプアに近く、会社を支える若者がこの先耐え切れず辞めて行くのではないかと危惧している。会社は鉄道事業部門が赤字であり要求には答えられないとの一点張り。だが関連事業収入で4年連続の黒字会社だ。24年度よりも経営状況は良くなっているのに何故貨物の社員はひどい目に合わされるのかと仲間怒る。各地の取り組みでは、全分会で現場長交渉を実施し賃上げ要求と合わせ職場の改善要求も提出し交渉。本社支

社へのFAX、自らの思いを書き記したジャボハガキ、寄せ書き、個人名を書いた社長宛の要請ハガキや門前集会等々出来得ることを展開してきた。会社は理屈の通らぬ事を理由として要求には答えようとしないため我々国労は整然と正当なストライキで対抗すべきと本部や全国貨物協議会に訴えている。旅客の仲間からの訴えを要請したい」と報告した。続いて宮城県支部秋山委員長、仙総支部庄司委員長

が激励と連帯のあいさつを行い、貨物宮城分会内田委員長が支援感謝と闘う決意を述べた。

集会所を採択後に地本大沼委員長の団結頑張りうで客貨一体で闘うことを確認した。

郡工支部集会所から

郡山工場支部は20日昼、風雨の悪天候の中でした。郡山総合車両センターの正門向かい側で抗議集会を開催しました。

各機関の連帯のあいさつでは、「貨物の連続15年ベアゼロは許せない！満額獲得を諦めないで取り組む。東日本は妥結した組合後も賃金改善の取り組みを続ける」「要求より高い回答の会社もある。モチベーションを上げるのが経営者。東日本のベアも闘って取ったとは言えない。ストライキも含めた闘いが必要だった」などが述べられました。

そして貨物分会の千葉分会長は「この1年の間に車両所と総鉄で合わせて5人の若年退職があった。まともに賃金も払えない魅力のない会社になってしまったが諦めないことが重要」と決意が語られ、団結ガンバリを突き上げました。



福島県（郡連協）抗議集会の様子

お知らせ

第14回国労東日本軟式野球大会

期日 5月15日（木）～16日（金）
会場 大井ふ頭中央海浜公園野球場

東日本は回答・妥結

新賃金と夏季手当

国労東日本本部は、3月14日JR東日本から2014年度新賃金と夏季手当について回答を受けた。

以下回答内容

①2014年度新賃金
定期昇給は昇給係数4実施（55歳未満の社員）、ベアは昇給係数1実施（エルダー社員除く全ての社員）精算は6月25日以降準備でき次第支払い

②2014年度夏季手当
基準内賃金の2・8ヶ月＋1万円、6月27日以降準備でき次第支払い

③その他（口頭回答）
●グリーンスタッフの精勤手当について、平成26年度中に雇用契約期間満了を迎える社員に3万円を加算する

●エルダー社員の精勤手当について、平成26年6月1日に在籍するエルダー社員の夏季支給額に3万円を加算する。

東日本本部はこの回答を受け、この間の真摯な議論については受け止めても、要求から見て遺憾であることを表明し、持ち帰り検討とし交渉を終了した。

東日本本部は、3月14日の臨時執行委員会において、要求とはかい離があるが組合員の生活設計等を考慮するとともに、引

き続き賃金・期末手当改善を強く求めていくことで妥結・整理を図ることを確認。そして取り扱いについて国労本部とも協議を行い、3月17日、11時に妥結・整理を図ることを決定した。

■計算式の補足について
2014年4月1日現在、55歳未満の社員

基本給額 ＋ 所定昇給額 ＋ 昇給係数1の額（所定昇給額÷4、ただし50円以上は切り上げ、50円未満は切り捨て）＝ 新賃金

等級	所定昇給額	等級	所定昇給額
係職1等級	4,000円	主任職2等級	5,900円
係職2等級	5,000円	主務職	6,000円
指導職1等級	5,500円	主幹職B	6,300円
指導職2等級	5,500円	主幹職A	6,600円
主任職1等級	5,900円	技術専任職	6,300円